

中央新幹線品川・名古屋間 事業説明会(大月市)

平成26年11月21日(金) 19:00～ 於:西部農村環境改善センター



東海旅客鉄道株式会社

本日のご説明内容

- ① 事業の意義
- ② これまでの取り組み内容
- ③ 中央新幹線品川・名古屋間の概要
- ④ 中央新幹線の施設等の概要
- ⑤ 主な計画・工事内容
- ⑥ 環境保全の取り組み及び磁界の影響
- ⑦ 用地取得に伴う補償
- ⑧ 今後の進め方

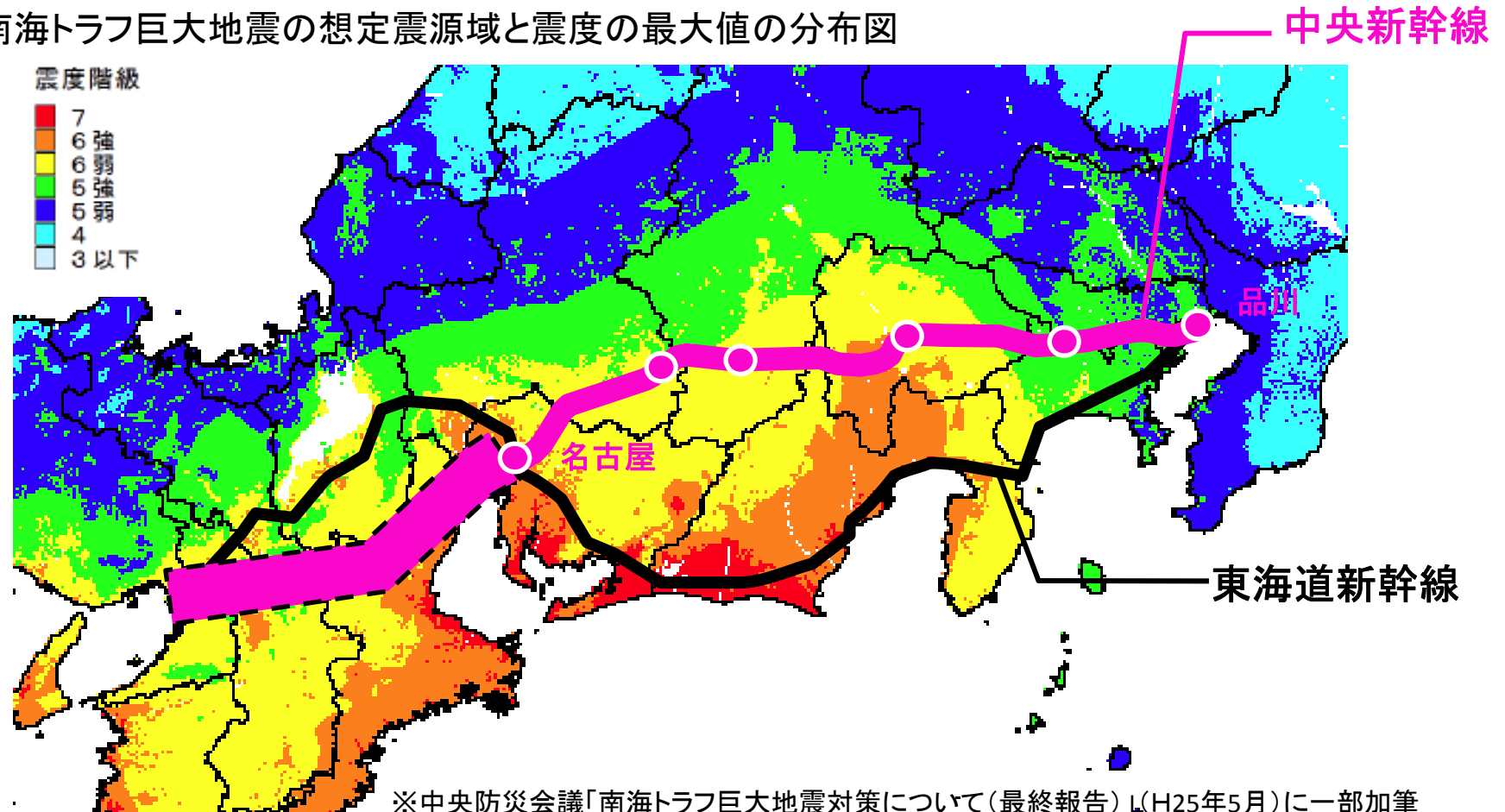
本日のご説明内容

- ① 事業の意義
- ② これまでの取り組み内容
- ③ 中央新幹線品川・名古屋間の概要
- ④ 中央新幹線の施設等の概要
- ⑤ 主な計画・工事内容
- ⑥ 環境保全の取り組み及び磁界の影響
- ⑦ 用地取得に伴う補償
- ⑧ 今後の進め方

事業の意義(バイパスの整備)

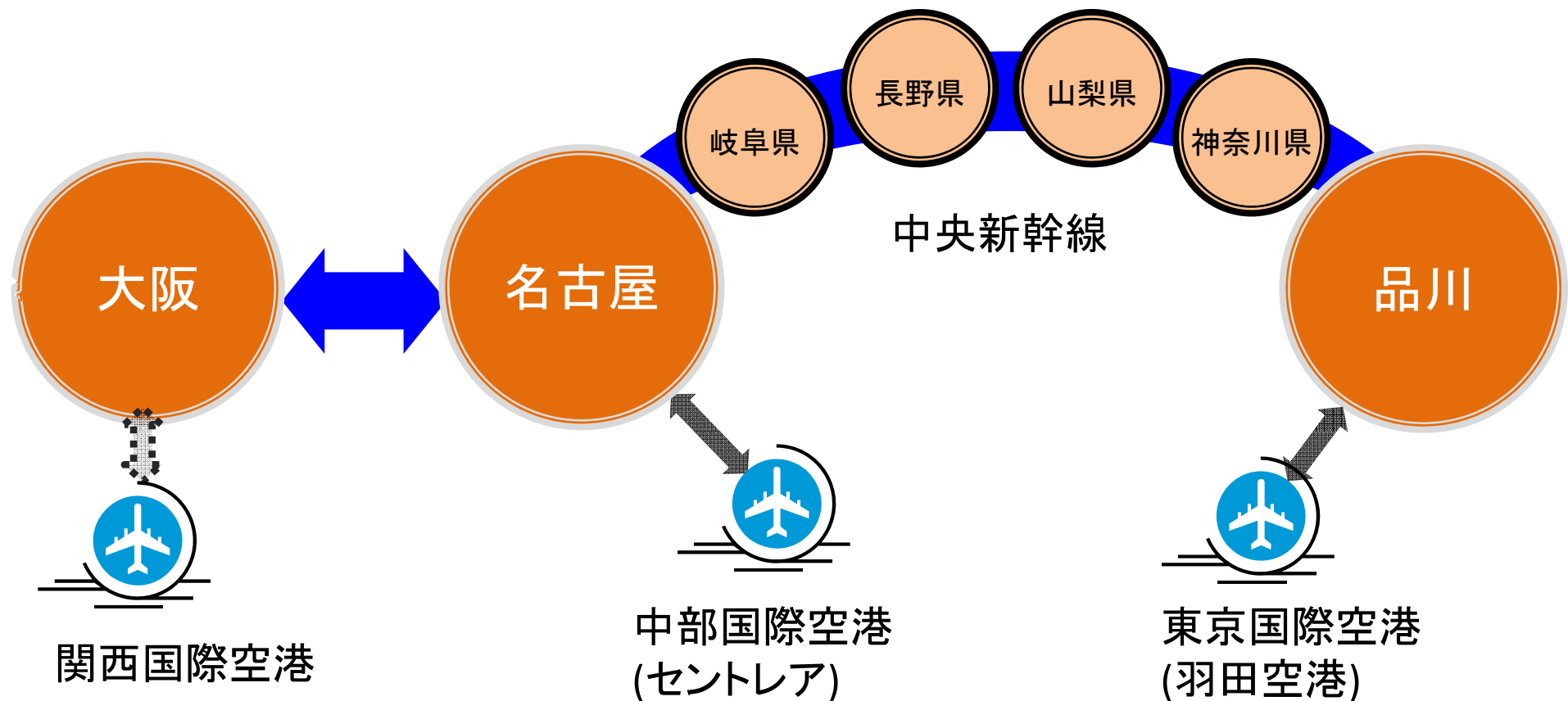
- ◎東海道新幹線は、今年10月で開業50年。その経年劣化と東海地震など大災害に対する備えが必要。
構造物の耐震補強と大規模改修工事を進めるも、抜本的な備えは、中央新幹線による二重系化。

南海トラフ巨大地震の想定震源域と震度の最大値の分布図



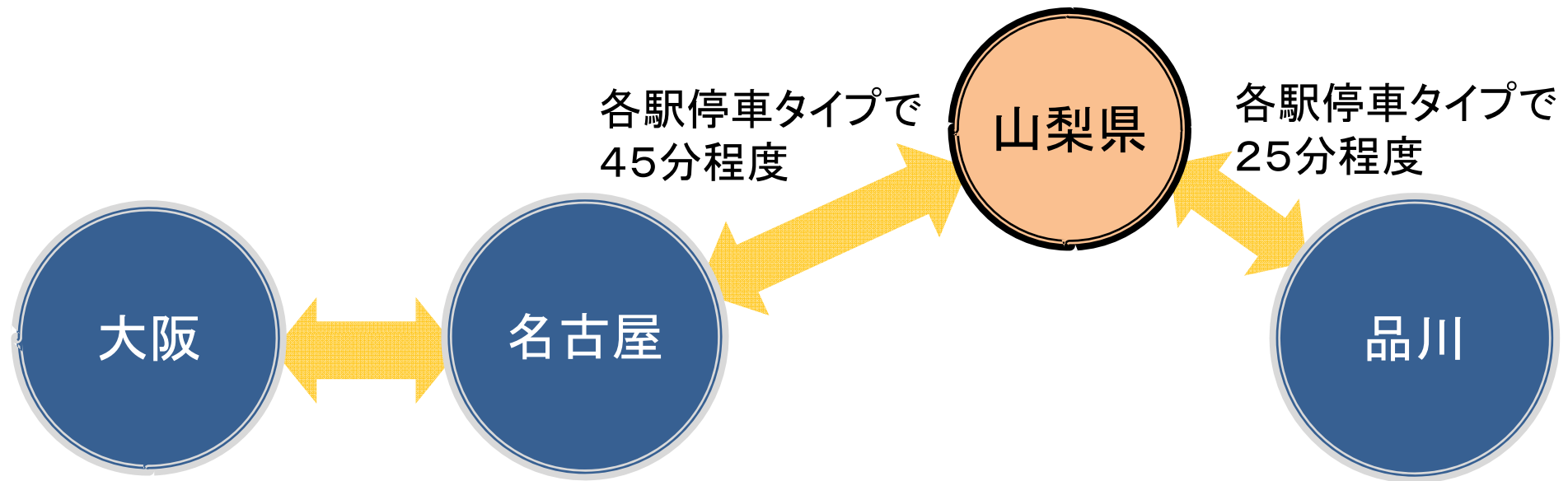
事業の意義(三大都市圏が一つの巨大都市圏に)

- ・三大都市圏が1時間圏内となり、1つの巨大都市圏が誕生します。
- ・東京・名古屋・大阪の各都市圏や国際空港への移動が飛躍的に便利になります。



山梨県と三大都市圏のアクセスが大幅に向上

中央新幹線による到達時分(現在の想定)



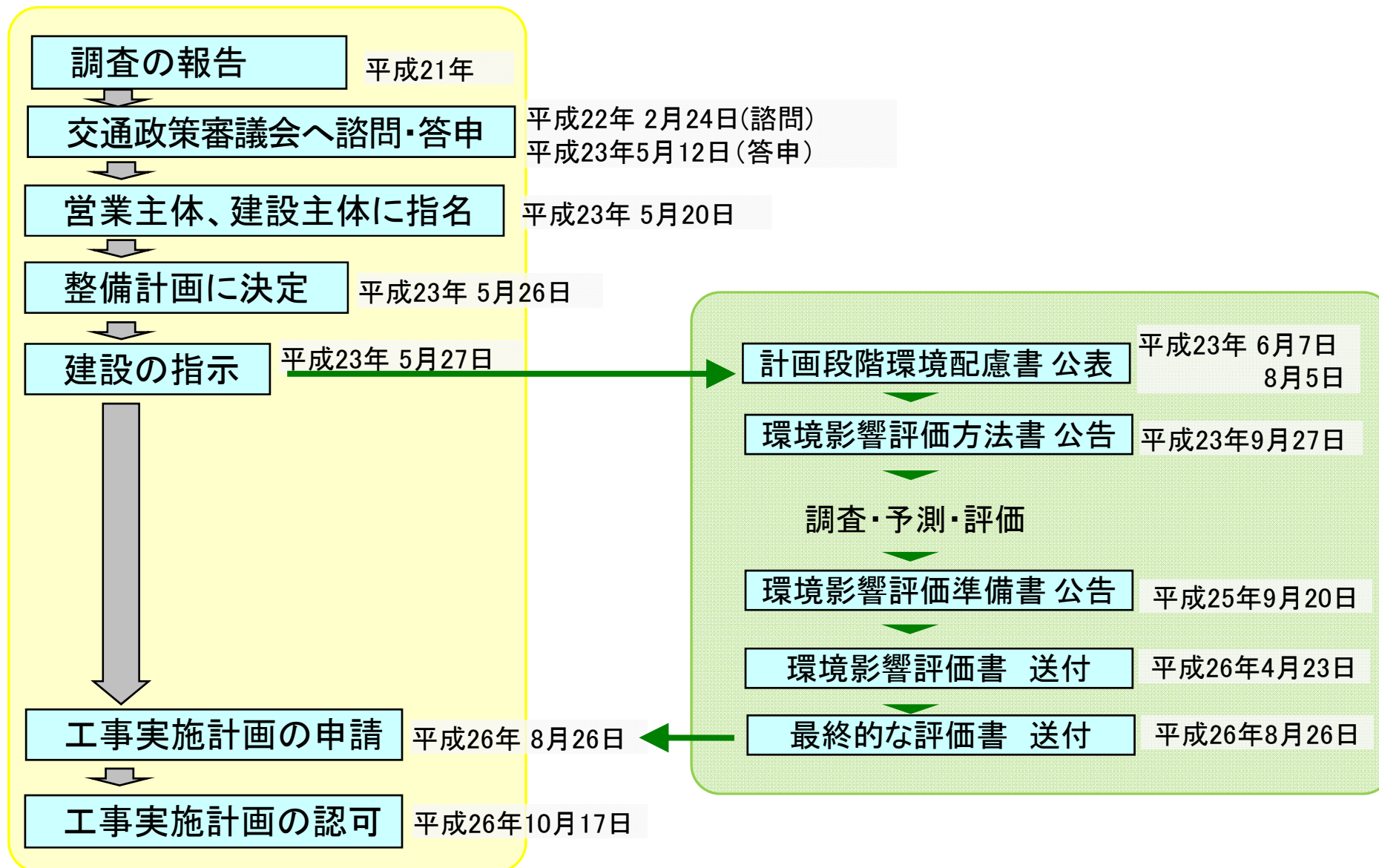
本日のご説明内容

- ① 事業の意義
- ② これまでの取り組み内容
- ③ 中央新幹線品川・名古屋間の概要
- ④ 中央新幹線の施設等の概要
- ⑤ 主な計画・工事内容
- ⑥ 環境保全の取り組み及び磁界の影響
- ⑦ 用地取得に伴う補償
- ⑧ 今後の進め方

全国新幹線鉄道整備法に基づく工事実施計画認可までの流れ

全国新幹線鉄道整備法

環境影響評価法



工事実施計画の認可

国鉄施第75号

認可書

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 柘植 康英 殿

全国新幹線鉄道整備法第9条第1項に基づき、平成26年8月26日付け中第33号で申請のあった中央新幹線品川・名古屋間工事実施計画（その1）については、認可する。

平成26年10月17日

国土交通大臣 太田 昭宏

※印章なしのものを掲載しています

本日のご説明内容

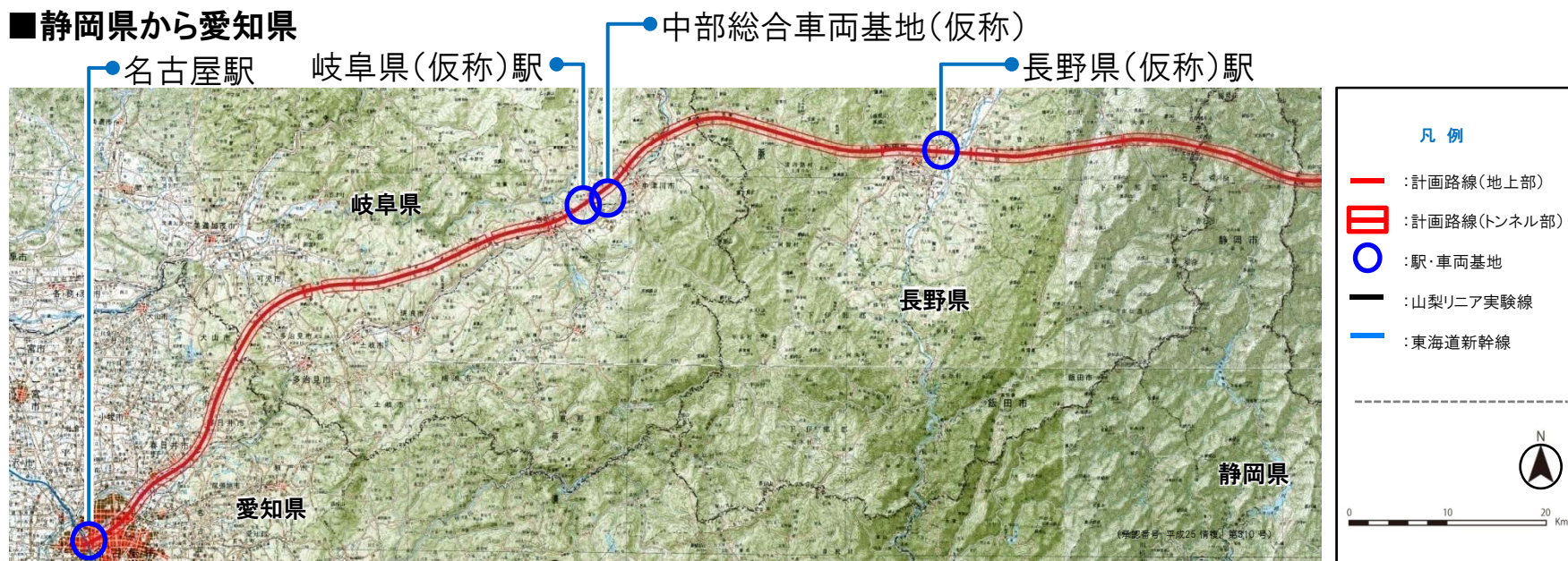
- ① 事業の意義
- ② これまでの取り組み内容
- ③ 中央新幹線品川・名古屋間の概要
- ④ 中央新幹線の施設等の概要
- ⑤ 主な計画・工事内容
- ⑥ 環境保全の取り組み及び磁界の影響
- ⑦ 用地取得に伴う補償
- ⑧ 今後の進め方

路線概要(平面図)

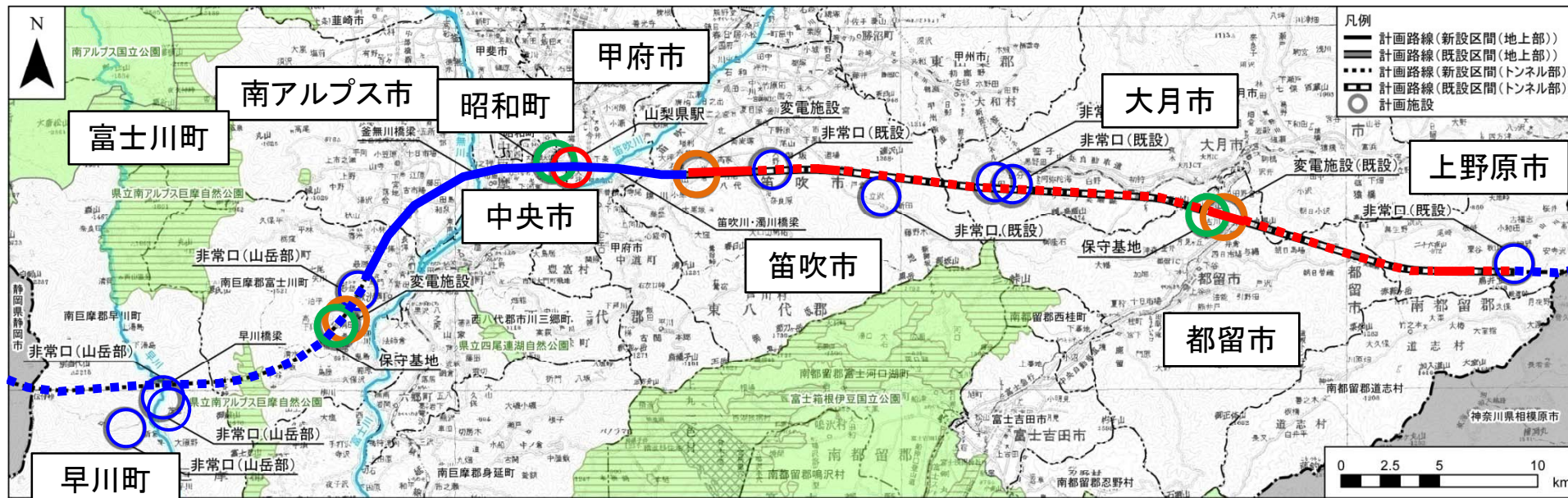
東京都から山梨県



静岡県から愛知県



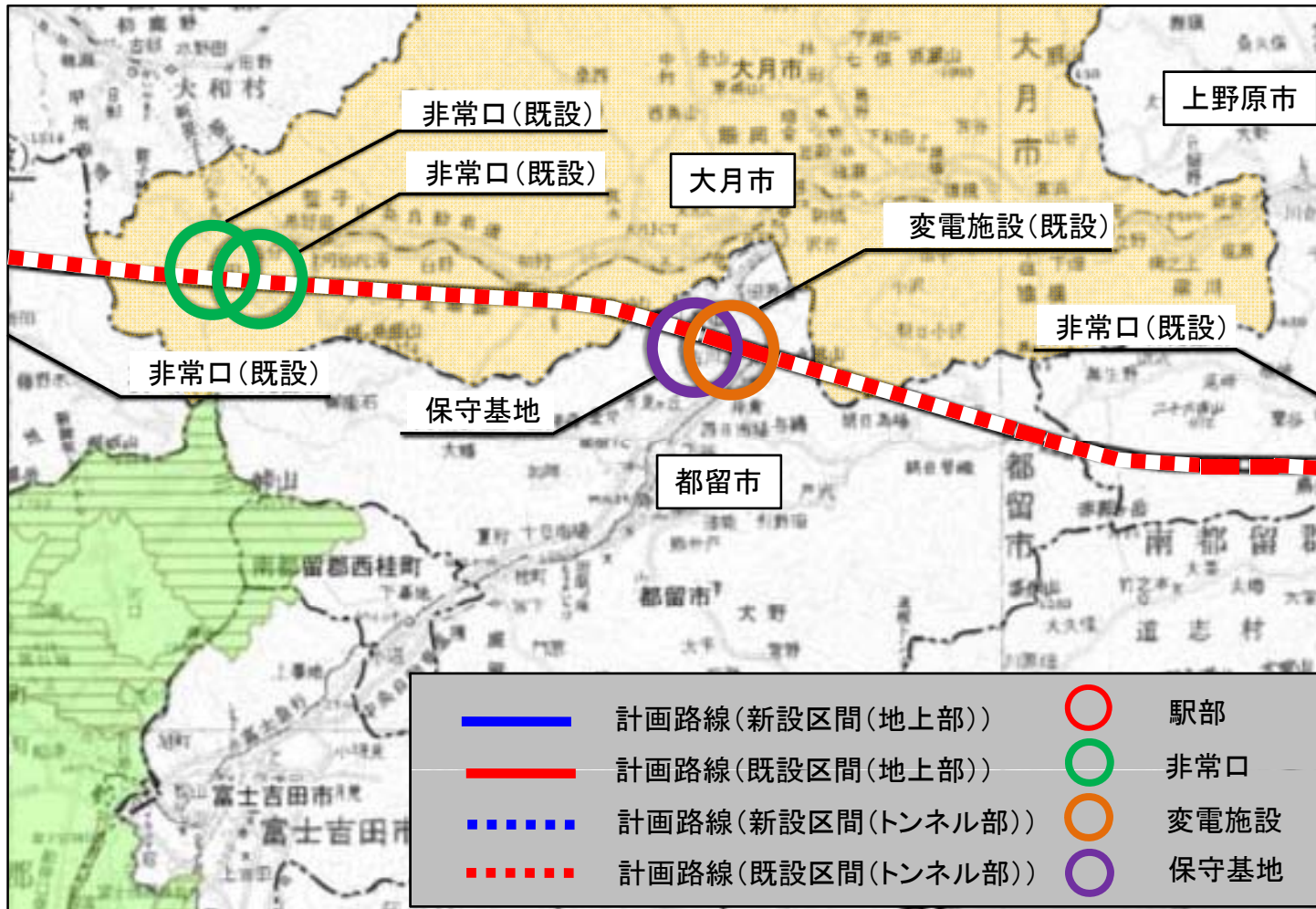
山梨県の路線概要(平面図)



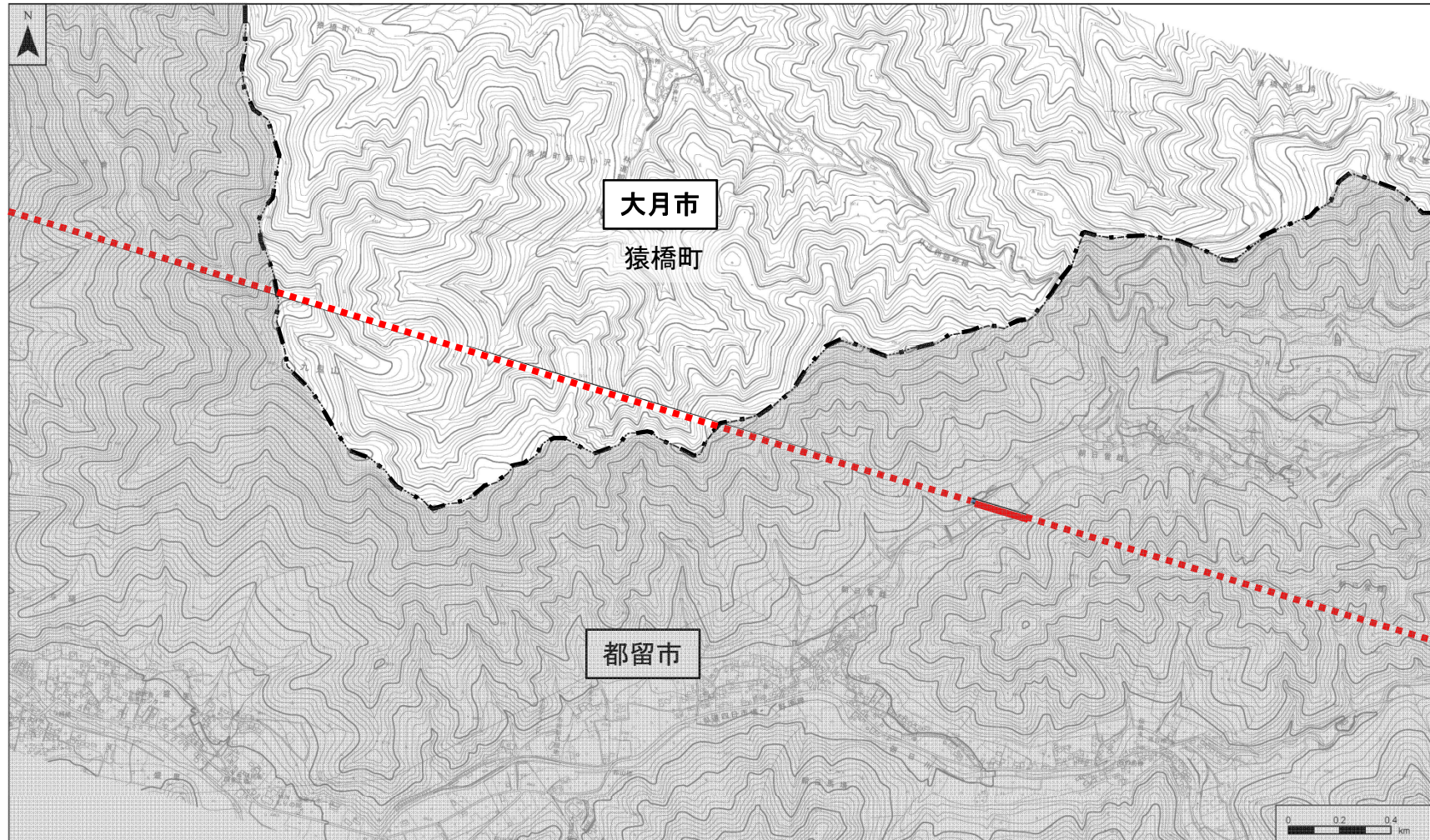
- 計画路線(新設区間(トンネル部))
- 計画路線(既設区間(トンネル部))
- 計画路線(新設区間(地上部))
- 計画路線(既設区間(地上部))
- 駅部
- 非常口(山岳部)
- 保守基地
- 変電施設

大月市周辺の路線概要

- ・山梨リニア実験線を活用します
- ・大月市の通過延長約14kmの内、一部の地上部分を除き全てがトンネルとなります

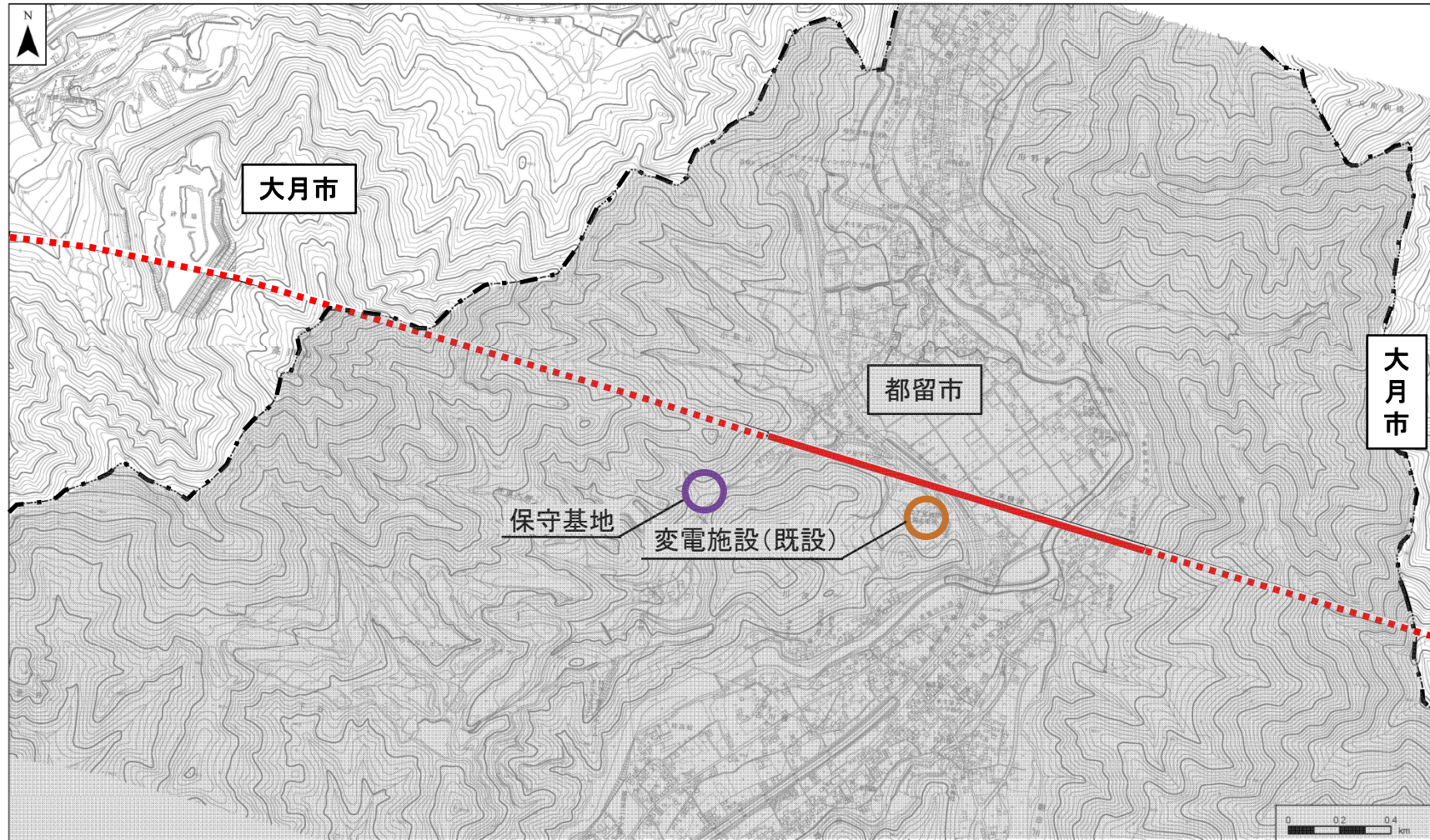


大月市周辺の路線概要①



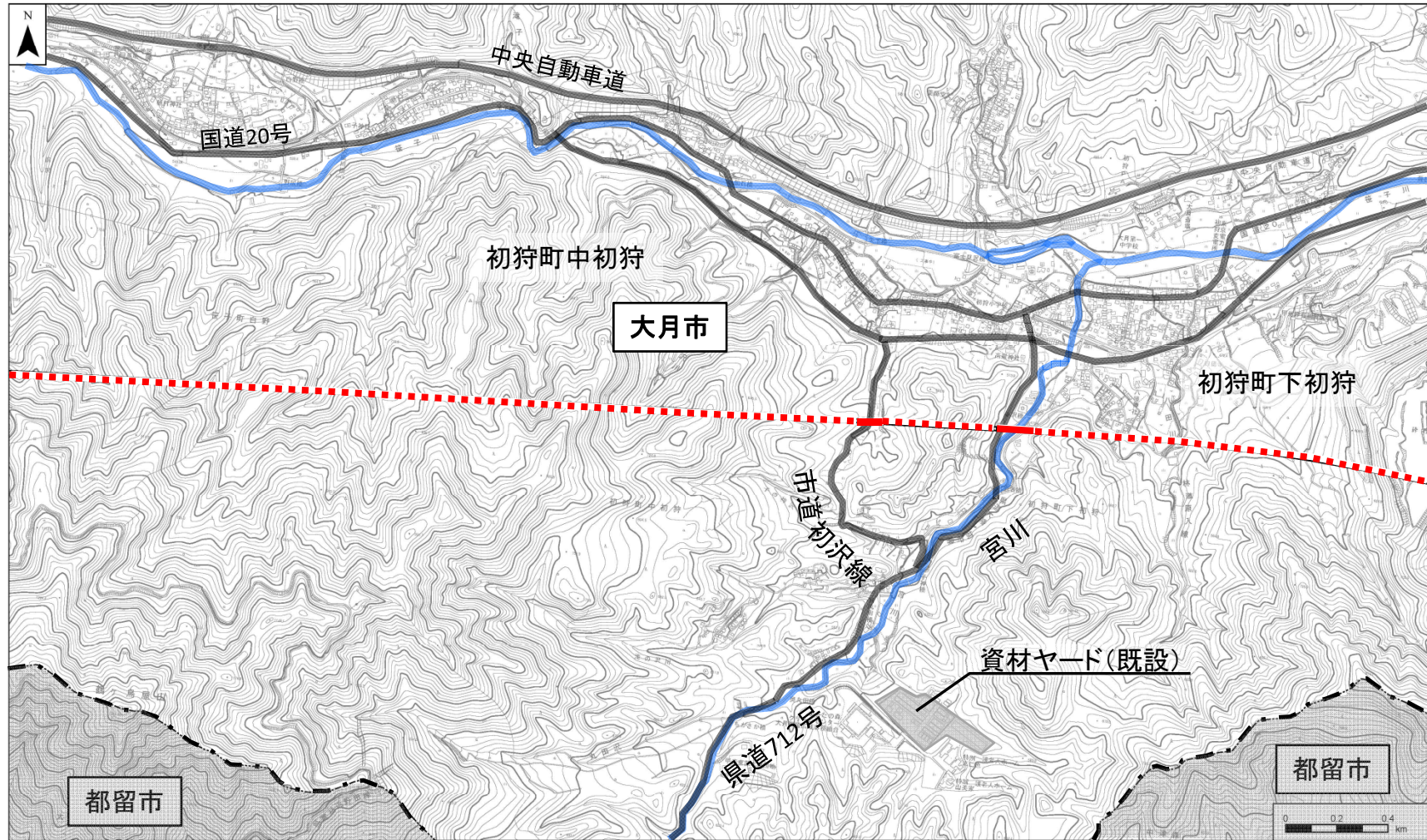
	計画路線(新設区間(地上部))		駅部
	計画路線(既設区間(地上部))		非常口
	計画路線(新設区間(トンネル部))		変電施設
	計画路線(既設区間(トンネル部))		保守基地

大月市周辺の路線概要②



	計画路線(新設区間(地上部))		駅部
	計画路線(既設区間(地上部))		非常口
	計画路線(新設区間(トンネル部))		変電施設
	計画路線(既設区間(トンネル部))		保守基地

大月市周辺の路線概要③



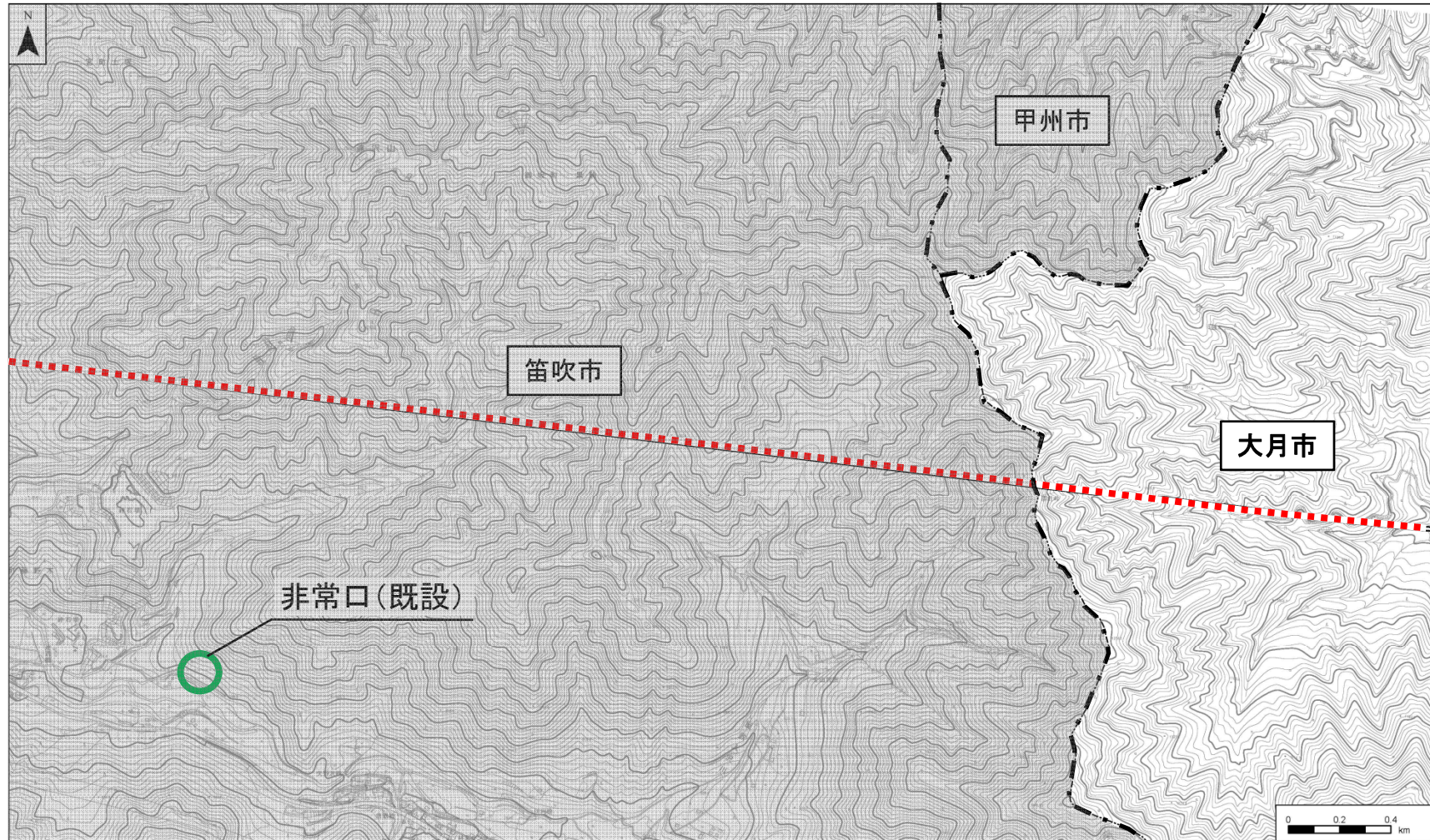
	計画路線(新設区間(地上部))		駅部
	計画路線(既設区間(地上部))		非常口
	計画路線(新設区間(トンネル部))		変電施設
	計画路線(既設区間(トンネル部))		保守基地

大月市周辺の路線概要④



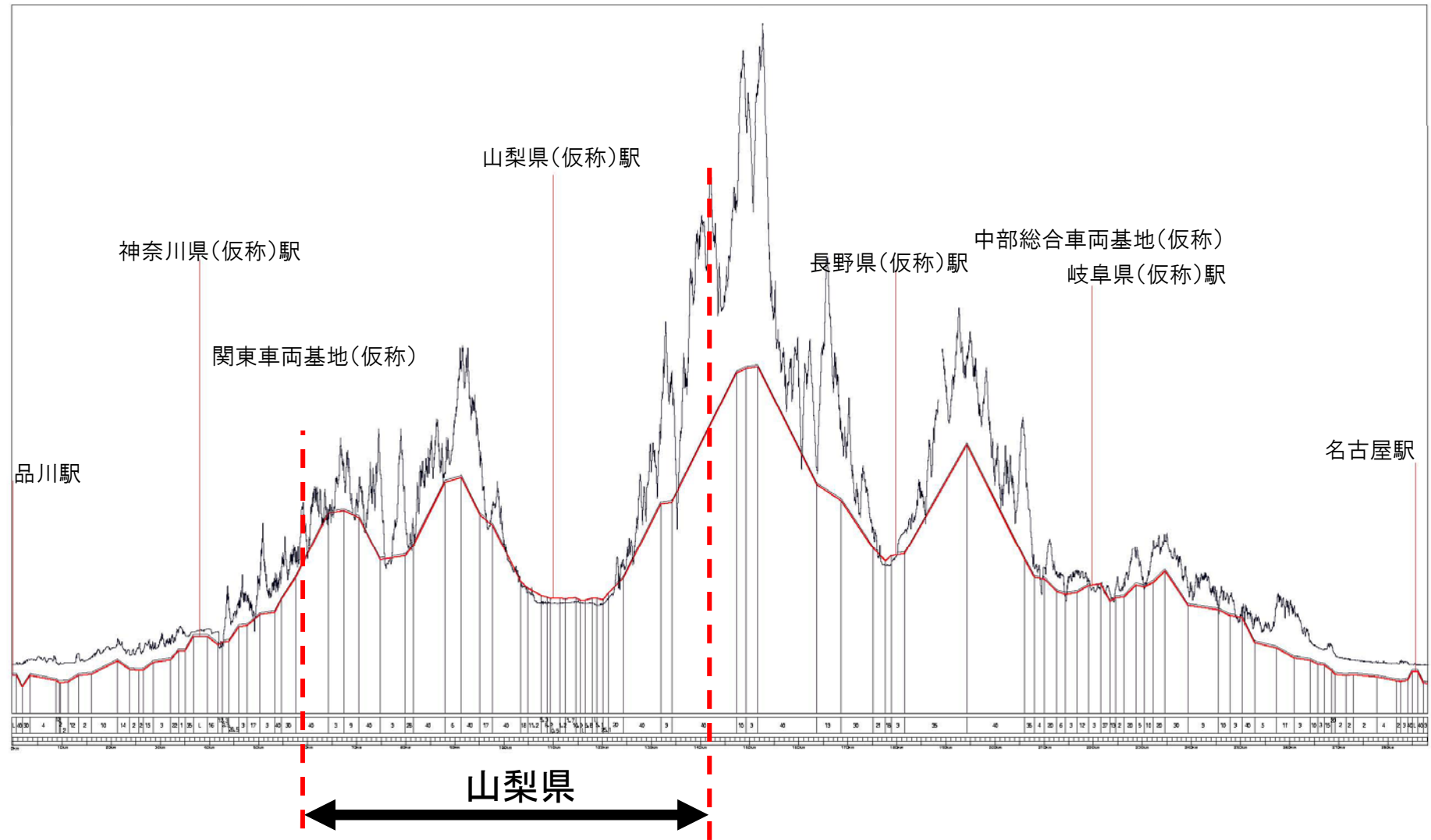
	計画路線(新設区間(地上部))		駅部
	計画路線(既設区間(地上部))		非常口
	計画路線(新設区間(トンネル部))		変電施設
	計画路線(既設区間(トンネル部))		保守基地

大月市周辺の路線概要⑤



	計画路線(新設区間(地上部))		駅部
	計画路線(既設区間(地上部))		非常口
	計画路線(新設区間(トンネル部))		変電施設
	計画路線(既設区間(トンネル部))		保守基地

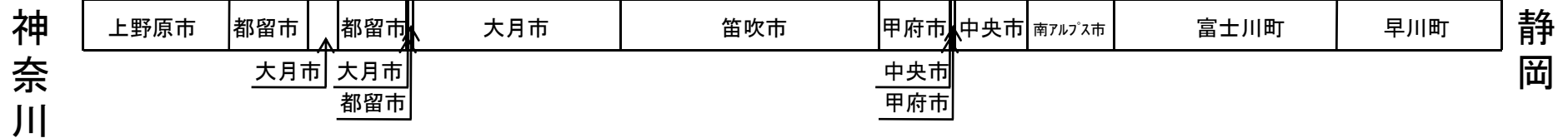
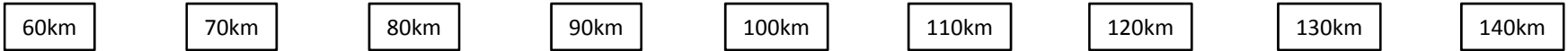
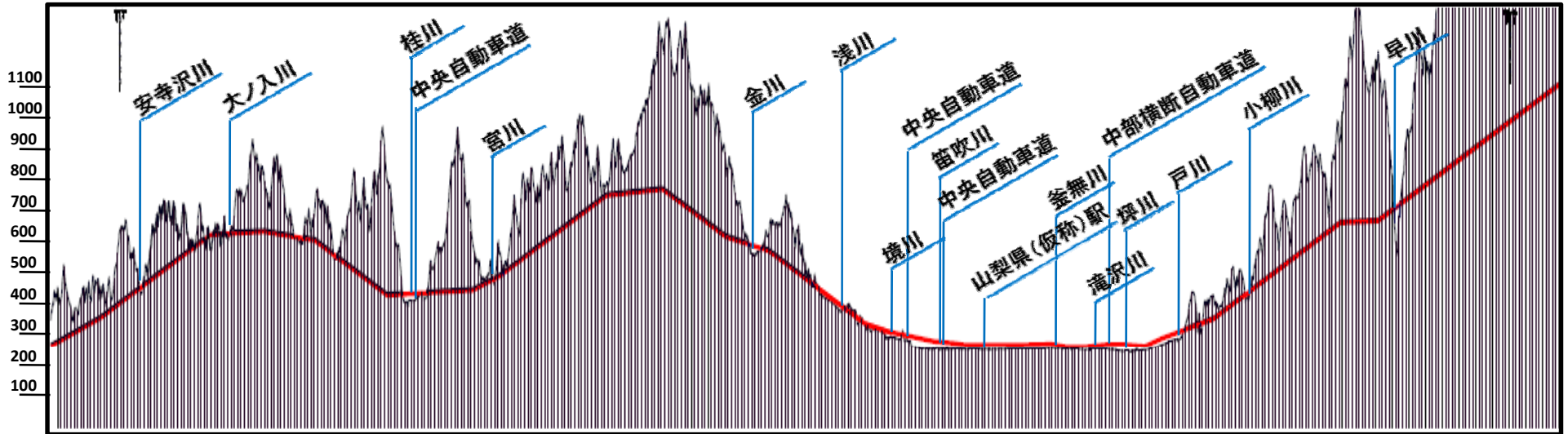
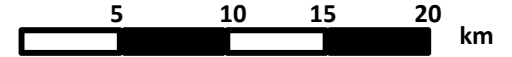
路線概要(縦断図)



横の長さに対して縦の長さを50倍にして表示しています

山梨県の路線概要(縦断図)

GH
単位:m



横の長さに対して縦の長さを30倍にして表示しています

本日のご説明内容

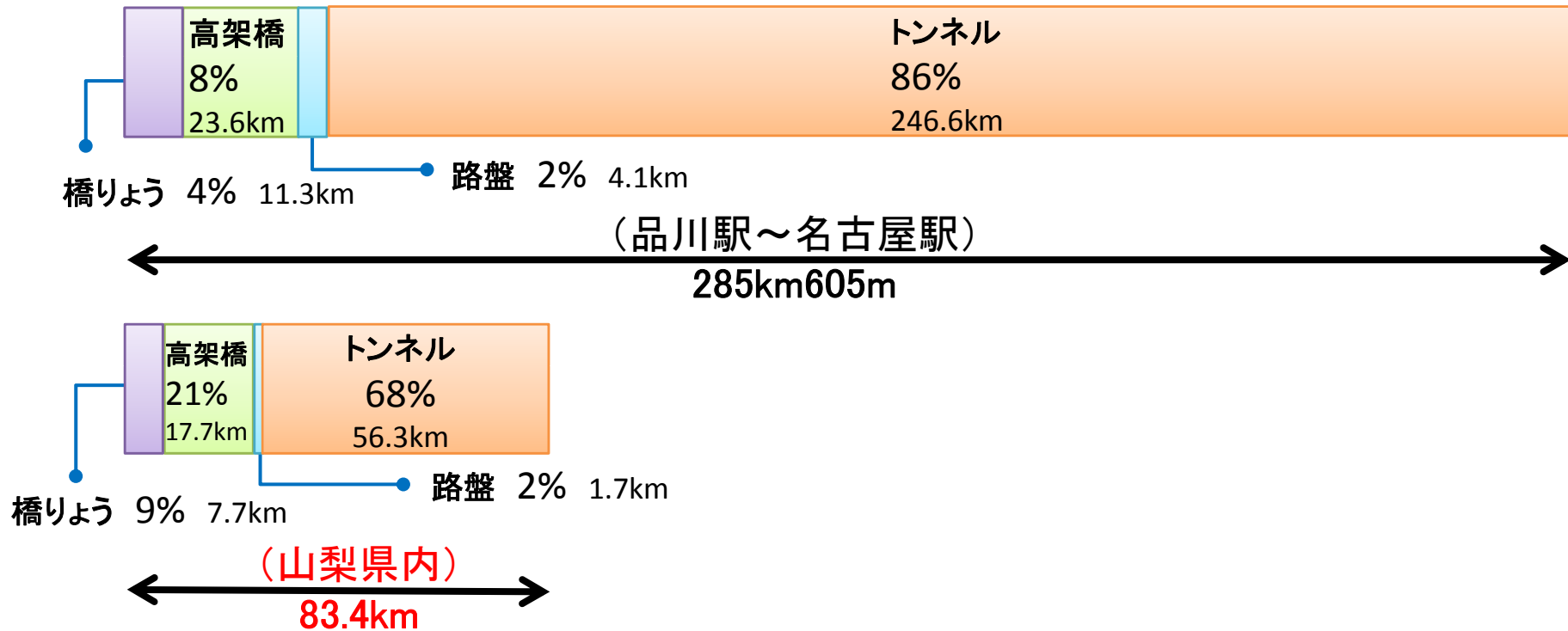
- ① 事業の意義
- ② これまでの取り組み内容
- ③ 中央新幹線品川・名古屋間の概要
- ④ 中央新幹線の施設等の概要**
- ⑤ 主な計画・工事内容
- ⑥ 環境保全の取り組み及び磁界の影響
- ⑦ 用地取得に伴う補償
- ⑧ 今後の進め方

構造物の種別

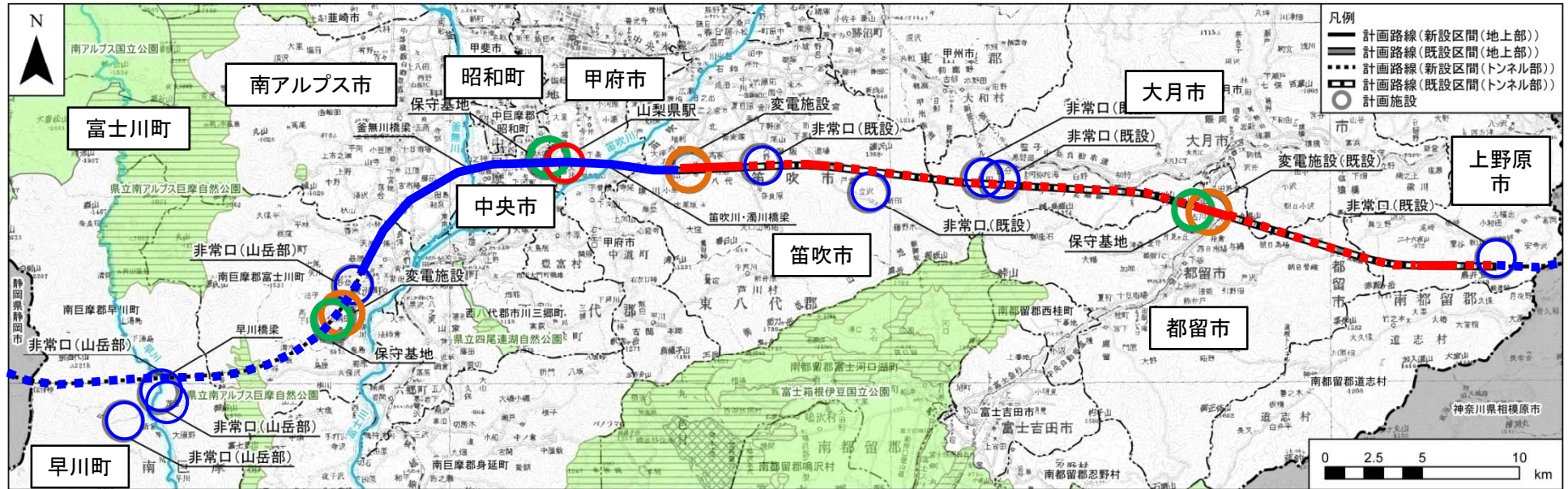
橋りょう



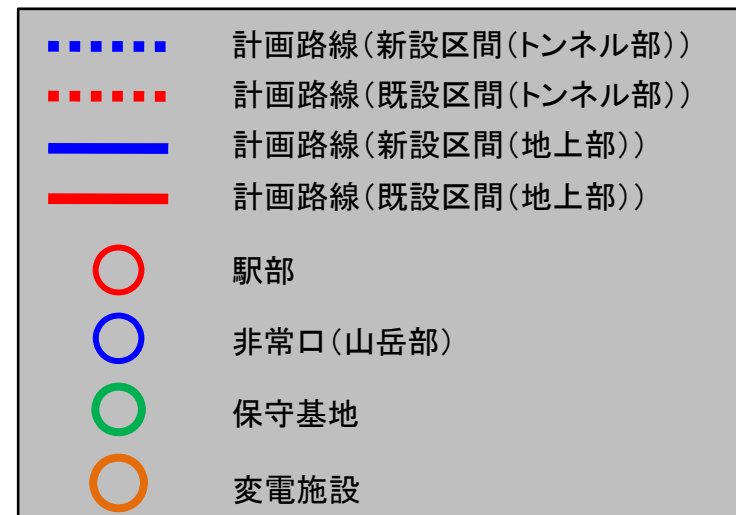
トンネル



山梨県の施設概要



種別	数量
地上部	27.1km
トンネル	56.3km
駅	1箇所
変電施設	3箇所
保守基地	3箇所
非常口(山岳部)	9箇所



変電施設・保守基地の概要

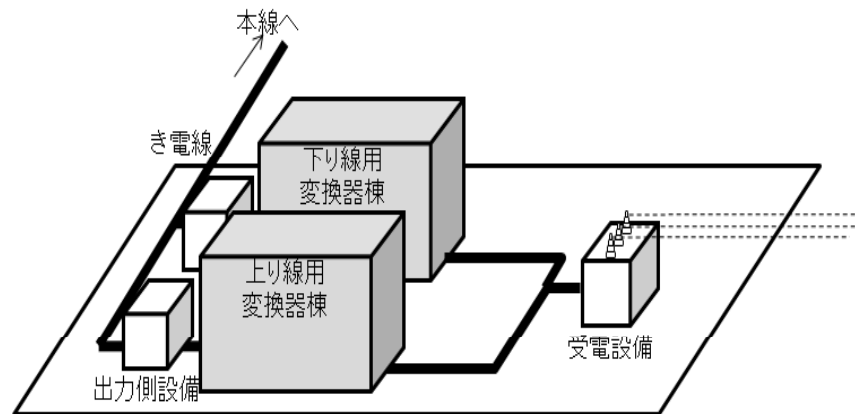
変電施設(イメージ)



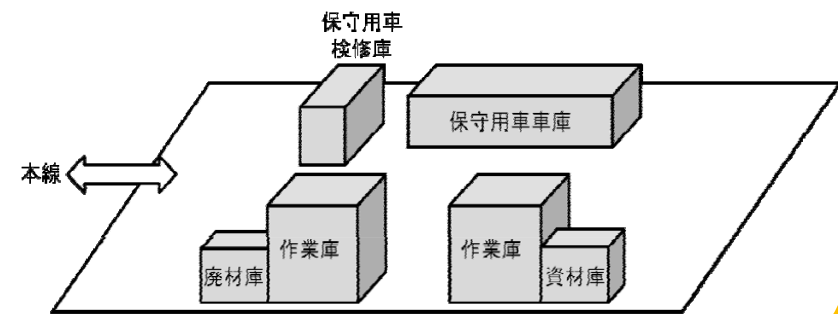
保守基地(イメージ)



変電施設

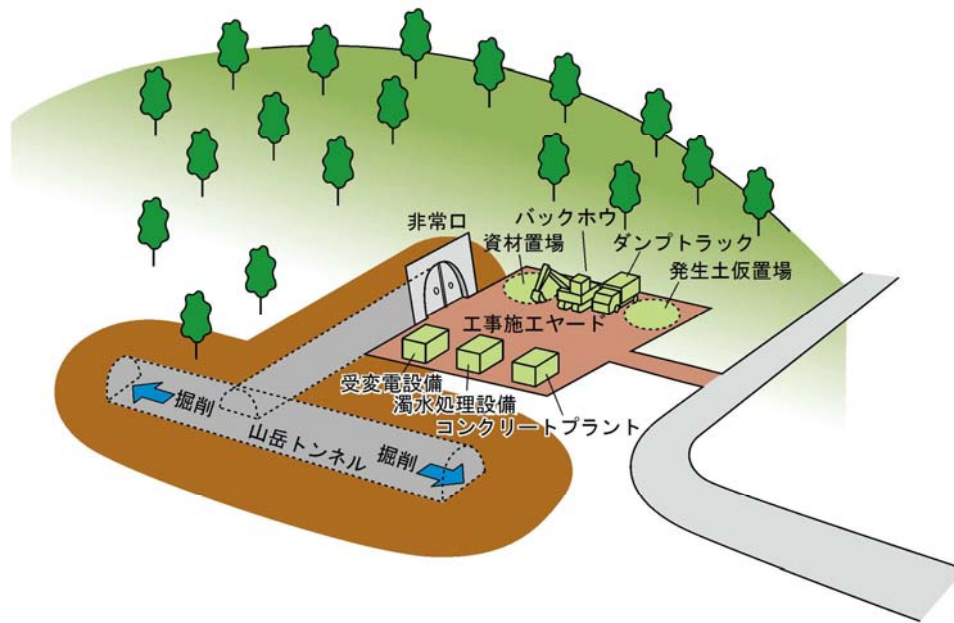


保守基地



非常口(山岳部)の概要

非常口

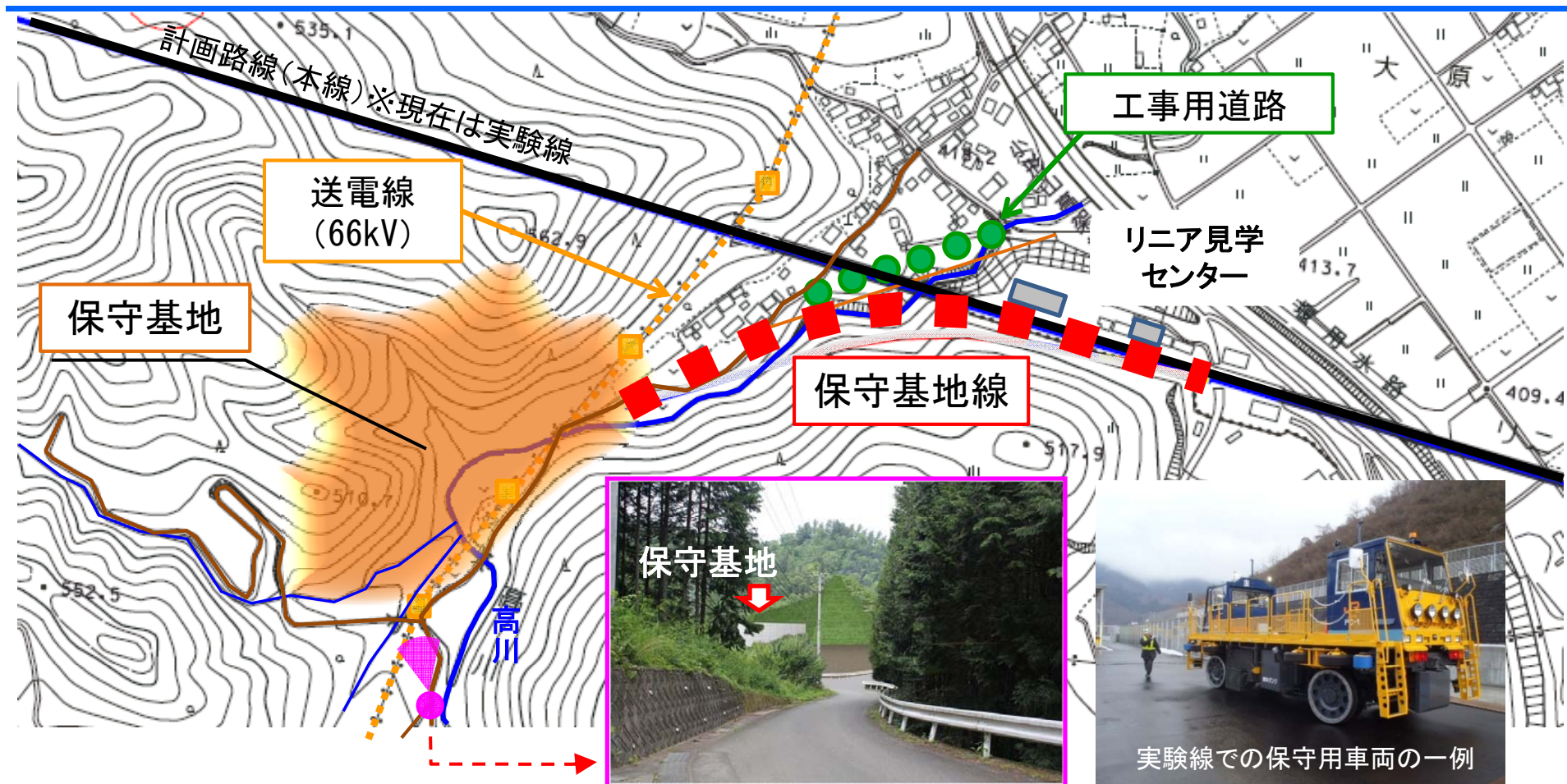


- ・大月市においては、既存の2箇所(黒野田地区)の非常口を存置します

本日のご説明内容

- ① 事業の意義
- ② これまでの取り組み内容
- ③ 中央新幹線品川・名古屋間の概要
- ④ 中央新幹線の施設等の概要
- ⑤ **主な計画・工事内容**
- ⑥ 環境保全の取り組み及び磁界の影響
- ⑦ 用地取得に伴う補償
- ⑧ 今後の進め方

小形山地区における保守基地の概要



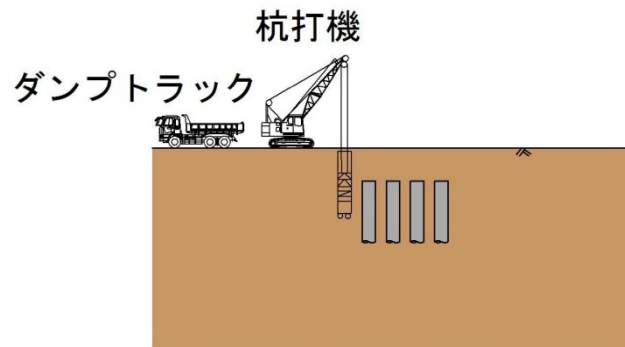
- 構造物や電気設備の検査、交換等に必要な保守用車両について、留置、検査、整備を行うための施設です
- 保守基地の敷地形状については、施設計画の深度化を進め、今後、確定していきます。なお、敷地面積は、約3haを想定しています。
- 東京電力の鉄塔や河川、道路の移設等を想定しています。

主な工事内容(高架橋・橋りょう)

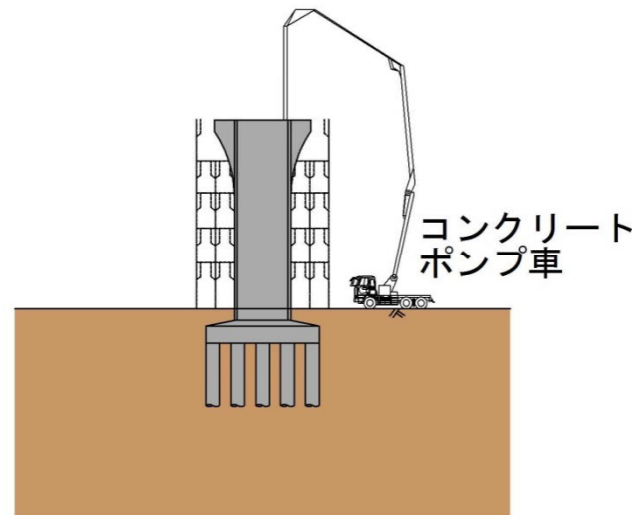
高架橋・橋りょうの施工概要

- 橋脚を支える場所打ち杭等の基礎、橋脚の躯体コンクリートを打設し、桁を架ける工法、あるいは、場所打ち工法により施工します。
- 工事の実施にあたり、工事施工ヤード等を設けます。
- 工事施工ヤードの幅として22m(線路中心から片側11m)を標準に考えています。

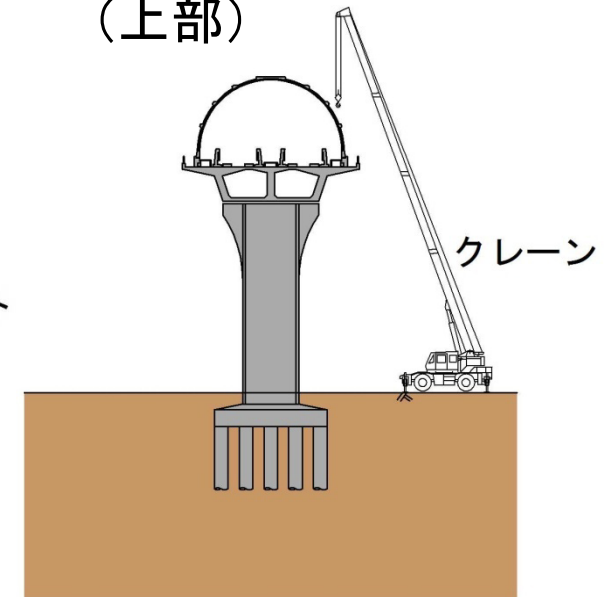
1 基礎構築 (場所打ち杭)



2 躯体構築 (下部)



3 躯体構築 (上部)



主な工事内容(高架橋・橋りょうの事例)

高架橋・橋りょう工事



実験線における工事

実験線区間(上野原市～笛吹市, 計42.8km)において、ガイドウェイの新設や改良等を実施します。

例：ガイドウェイの新設

(イメージ)



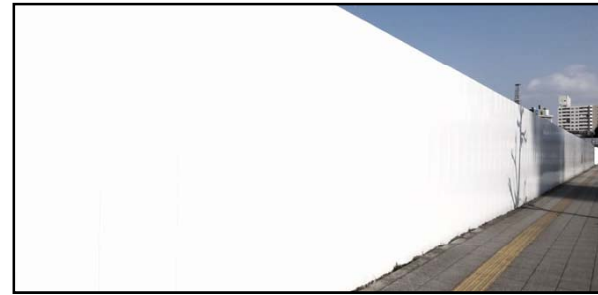
本日のご説明内容

- ① 事業の意義
- ② これまでの取り組み内容
- ③ 中央新幹線品川・名古屋間の概要
- ④ 中央新幹線の施設等の概要
- ⑤ 主な計画・工事内容
- ⑥ 環境保全の取り組み及び磁界の影響**
- ⑦ 用地取得に伴う補償
- ⑧ 今後の進め方

環境保全の取り組み(地上部の工事)



- ・排出ガス対策型建設機械の採用
- ・低騒音・低振動型建設機械の採用
- ・高負荷運転の抑制



- ・仮囲い等による遮音対策



- ・工事現場の清掃及び散水



(高架橋工事のイメージ)

- ・工事の平準化
- ・工事に伴う改変区域をできる限り小さくする
- ・工事従事者への講習・指導



- ・工事排水の適切な処理
- ・工事排水の監視

環境保全の取り組み(工事用車両の運行)



交通誘導員による誘導



法定速度の遵守、エコドライブの徹底



道路の洗浄



- ・工事従事者への講習・指導
- ・定期的な車両の点検、整備



- ・車両出入り口、周辺道路の散水
- ・タイヤの洗浄
- ・荷台への防塵シートの設置、散水

山梨リニア実験線の実施例

工事車両明示による意識向上

工事用車両の明示を行い、運転者の意識を高め、安全や環境に配慮した運転を徹底しました。

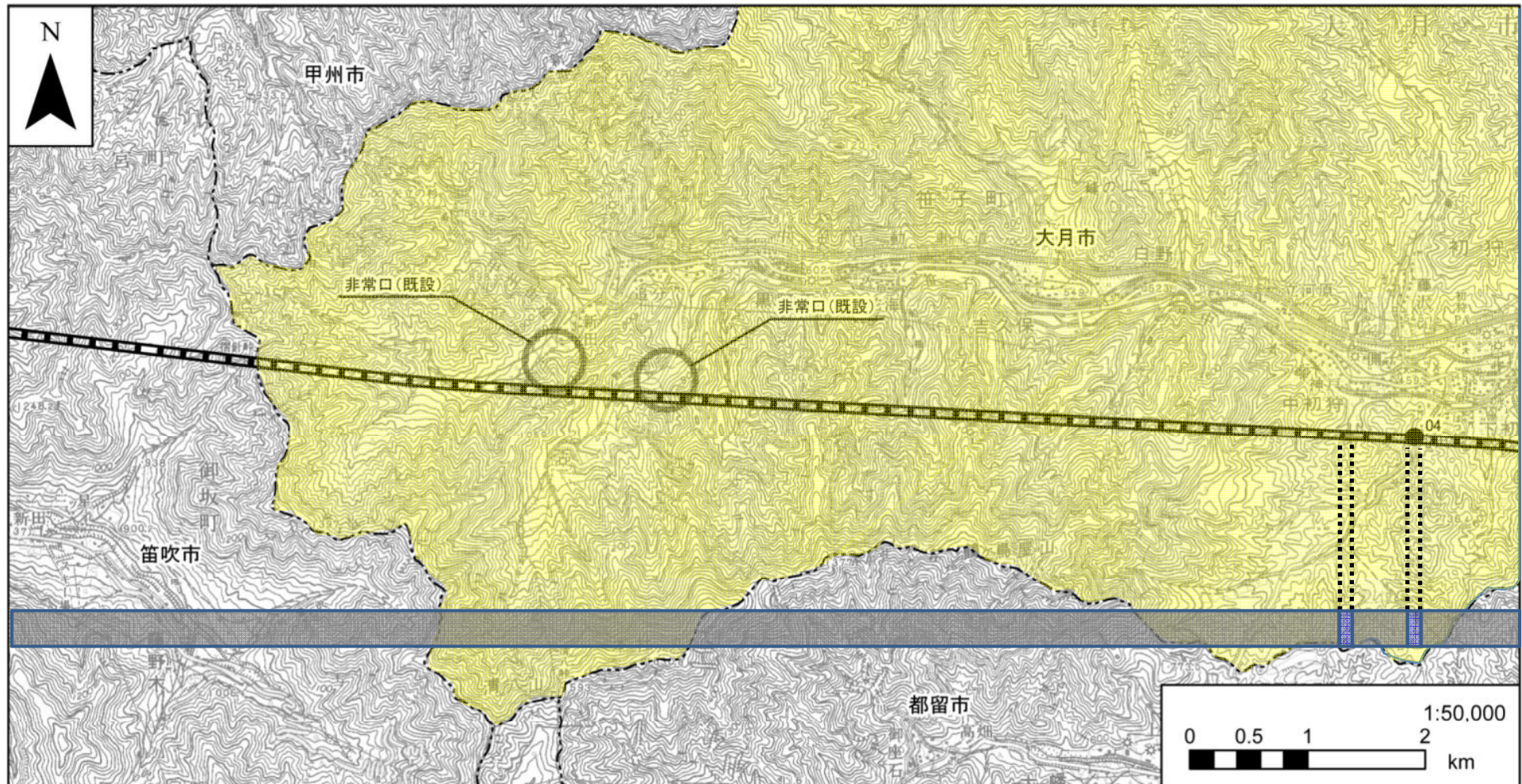


一般交通への配慮

地元車優先を徹底すると共に、安全走行に配慮しました。



環境対策工の配置



凡例

- 計画路線(新設区間(地上部))
- 計画路線(既設区間(地上部))
- ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部))
- ▭ 計画路線(既設区間(トンネル部))

- 列車の走行に係る騒音の予測地点
(市町の主な代表地点)
- ▲ 列車の走行に係る騒音の予測地点
(線路近傍の病院、学校等)

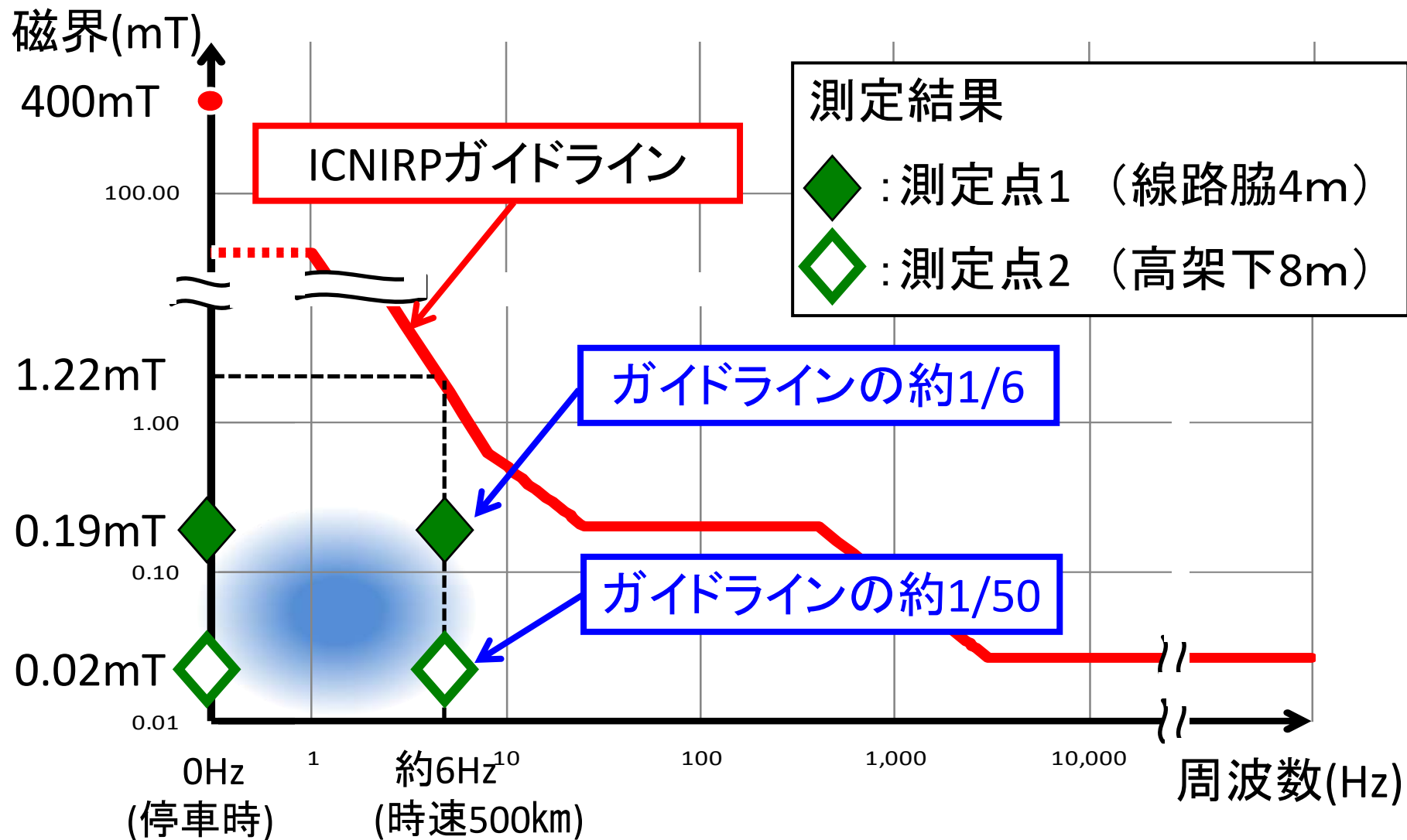
- : 防音防災フード等
- : 防音壁
- : トンネル

磁界の影響について

- 国際的なガイドライン(ICNIRPのガイドライン)以下では、磁界による健康への影響はありません。
- 超電導リニアでは、国の基準であるICNIRPのガイドライン以下に磁界を管理します。
- 山梨リニア実験線における実測結果でも、国の基準であるICNIRPのガイドラインを大きく下回っています。

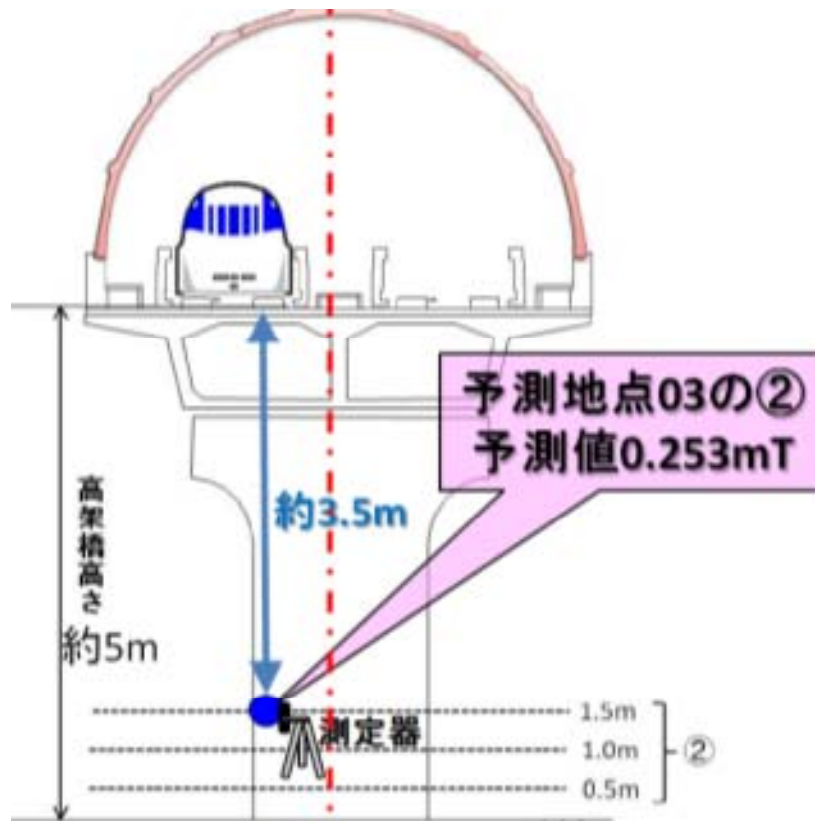
ICNIRPのガイドラインと実測結果の比較(沿線磁界)

- ・いずれのケースについても実測結果がICNIRPのガイドライン以下であることを確認



磁界の公開測定

高架橋直下



	500km/h測定時
測定値	0.24 mT
ICNIRP ガイドライン	1.2 mT

本線脇での公開測定



トンネル上部での公開測定

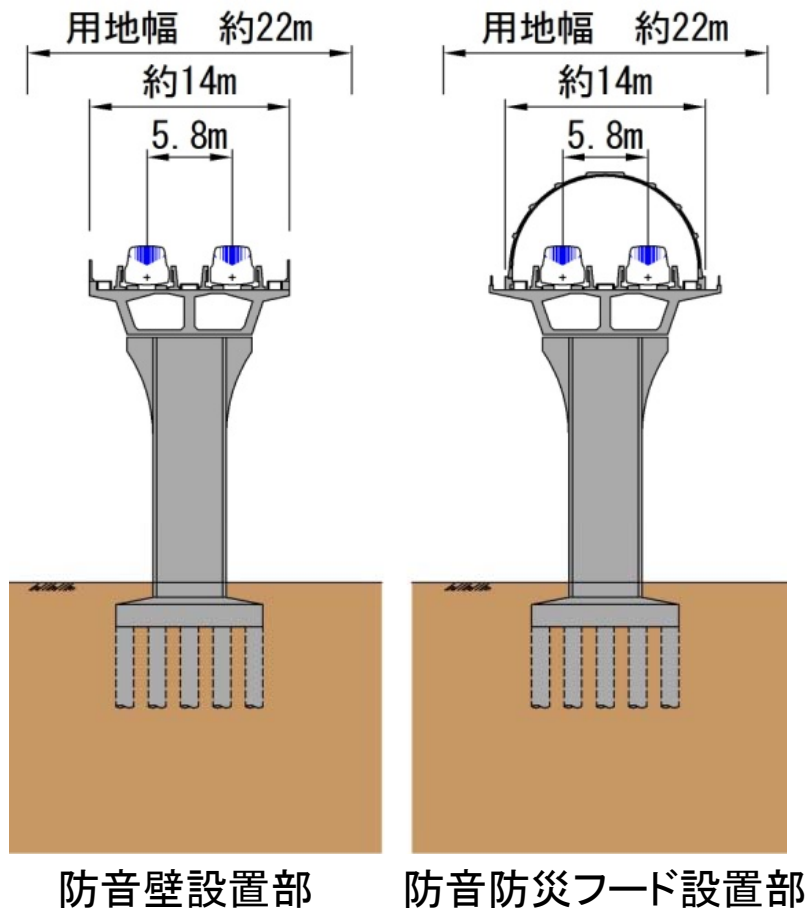


本日のご説明内容

- ① 事業の意義
- ② これまでの取り組み内容
- ③ 中央新幹線品川・名古屋間の概要
- ④ 中央新幹線の施設等の概要
- ⑤ 主な計画・工事内容
- ⑥ 環境保全の取り組み及び磁界の影響
- ⑦ 用地取得に伴う補償
- ⑧ 今後の進め方

地上区間における用地取得

桁式高架橋



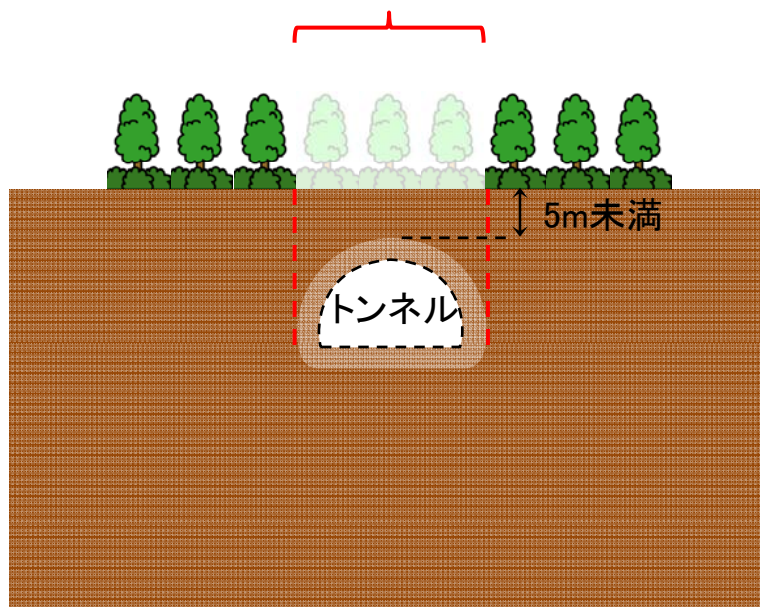
- 用地幅は、構造物の両側に緩衝帯として約4mを確保して約22mを計画しています。
- 道水路の付替えにより、取得する範囲が増える場合があります。
- 地上駅部は、駅の幅に応じた用地幅にて取得させていただきます。
- この他、変電施設、保守基地、非常口等に必要な範囲を取得させていただきます。

山梨県内のトンネル区間における用地取得

- トンネルのロックボルトなど必要な幅を確保し、用地幅とします。

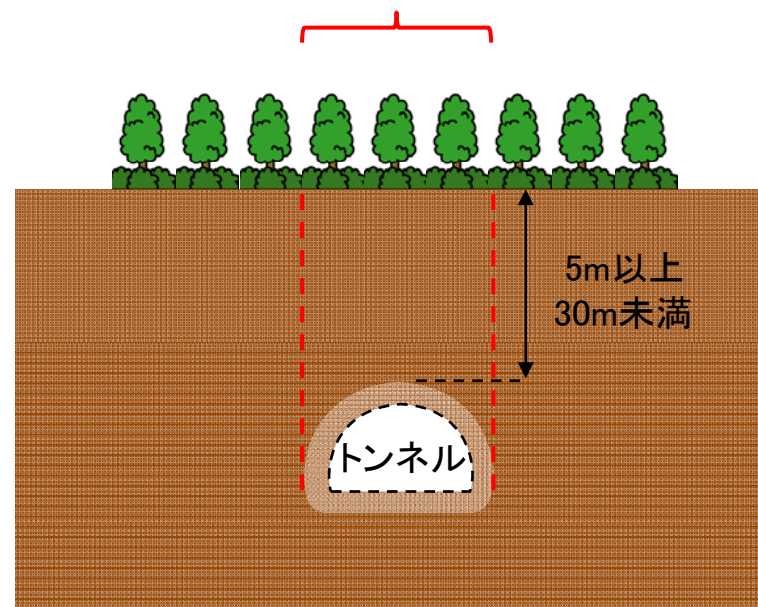
①トンネルの上部が5m未満の場合

土地を取得



②トンネルの上部が5m以上30m未満の場合

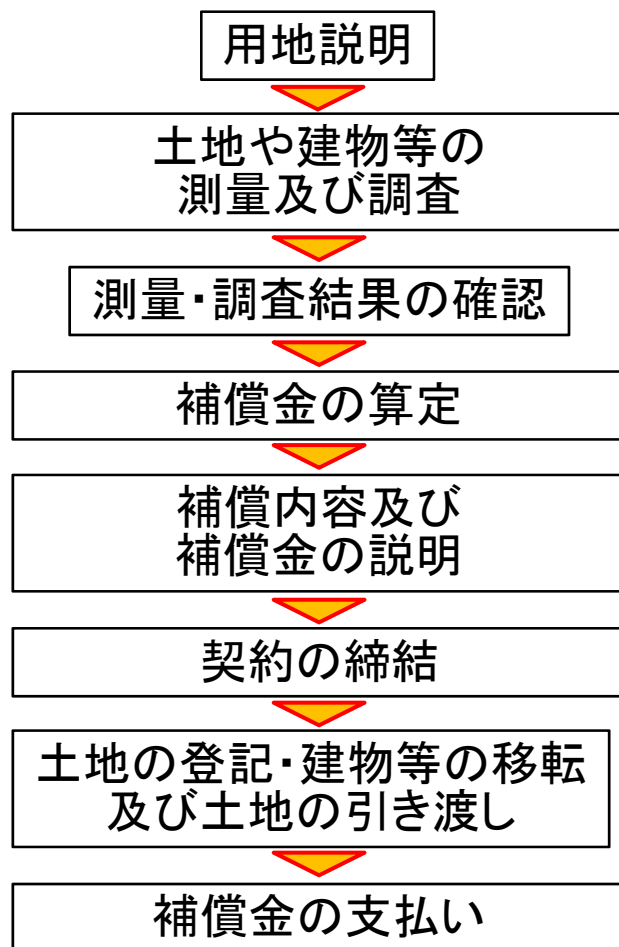
区分地上権を設定



※区分地上権 : 工作物を所有するため、地下又は空間において土地を使用する権利

用地取得に伴う補償

用地補償の手順



補償金の算定

適正で公平な補償を行うため、国が定めた基準に基づき算定した補償額を金銭で補償します。

なお、損失の補償は土地や建物等の権利者に対して、個別に行います。

補償の種類

土地、建物、工作物、立竹木、動産移転、移転雑費、営業、借家人等

国の指針等

『公共用地の取得に伴う損失補償基準要綱』（S37.6.29 閣議決定）

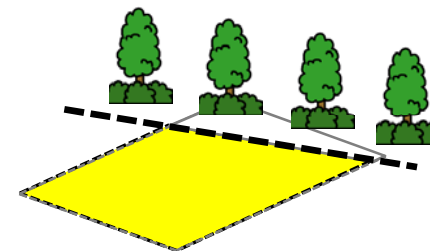
『公共用地の取得に伴う損失補償基準』（S37.10.12 用地対策連絡会決定）

用地取得に伴う補償

土地の補償

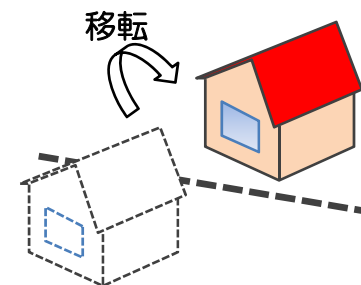
公示価格や基準地価格、不動産鑑定士による鑑定評価額を参考に正常な価格を算定します。

譲っていただく土地を他の人に貸している場合は、土地の所有者と権利者の双方で権利割合を話し合ってください、その割合に応じて補償します。



建物の補償

建物を移転していただく場合は、合理的な移転方法（再築・曳家・改造等）を定め、その方法によって移転するのに要する費用を補償します。



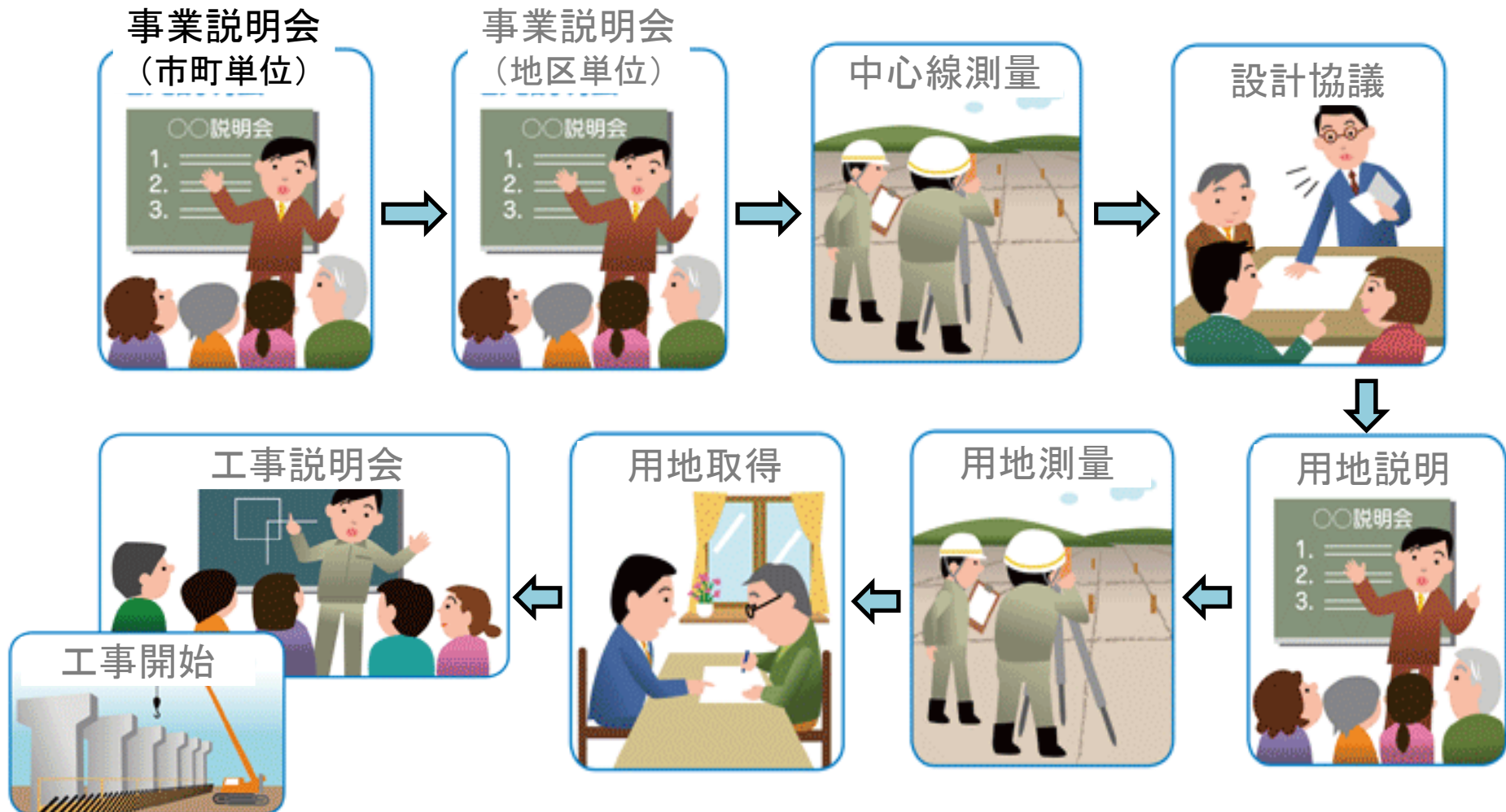
補償の内容及び補償金については、それぞれの権利者の方々に十分説明いたします。ご承諾いただけましたら、当社が作成した契約書に署名・押印していただき、契約の締結となります。

本日のご説明内容

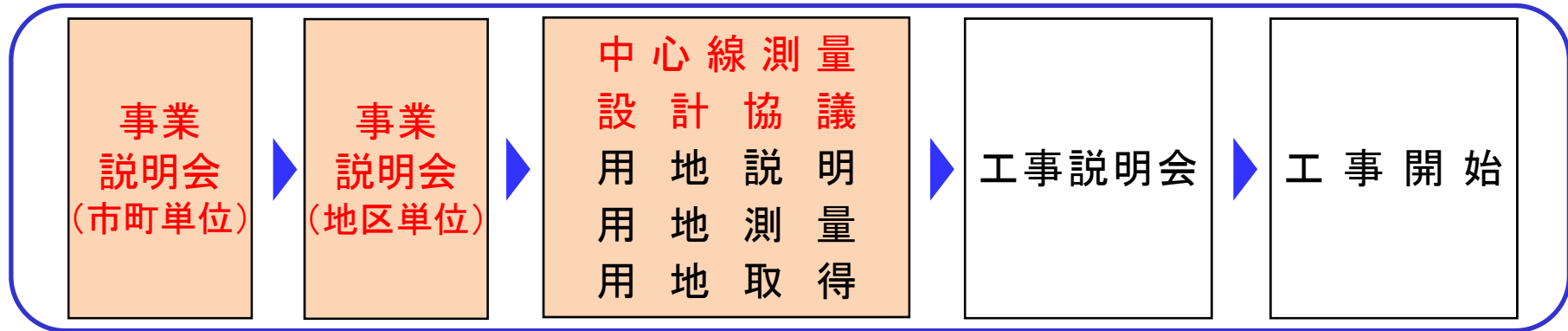
- ① 事業の意義
- ② これまでの取り組み内容
- ③ 中央新幹線品川・名古屋間の概要
- ④ 中央新幹線の施設等の概要
- ⑤ 主な計画・工事内容
- ⑥ 環境保全の取り組み及び磁界の影響
- ⑦ 用地取得に伴う補償
- ⑧ 今後の進め方

今後の進め方

中央新幹線建設は、次のような手順で進めてまいります。
工事に際しては、環境対策や安全対策に万全を尽くして
参りますので、地元の皆さまのご協力をお願いいたします。



事業説明会



- 市町単位での事業説明会は本日のこの場となります。
- 大月市では、新設区間の工事は発生しないため、地区単位での事業説明会は予定しておりません。



- 関係者のご理解を頂いた箇所から現地での中心線測量等を実施させていただきます。
- 並行して行政機関等と道路や水路の付替え等について協議します。

中心線測量



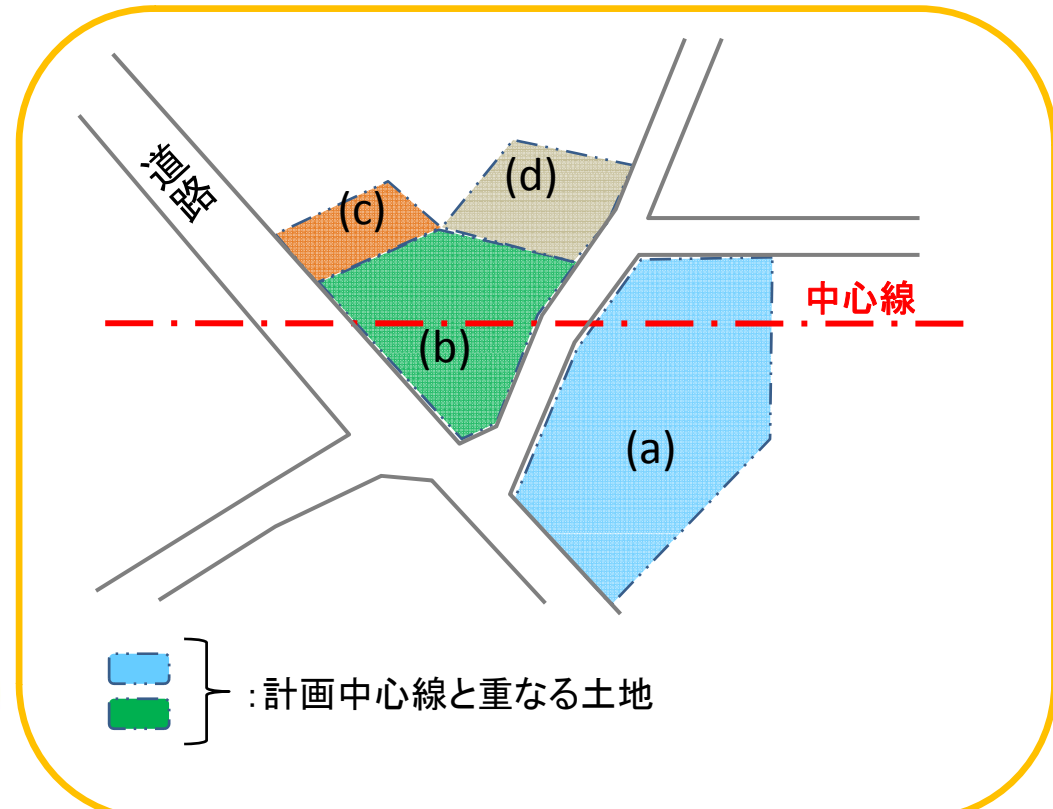
- 中心線測量は、設計に必要な地盤の高さや土地の形状を調査するために実施します。
- 中心線とは、設計や各種調査の基準となる線で、ルートを中心となります。
- 測量の実施にあたっては、事前にお知らせした上で進めていきます。



- 計画路線の中心点を現地に設置します。
- 中心点は20～100mピッチで杭・鋵等を現地に打ち込んで設置します。



中心点鋵・杭イメージ



沿線の土地と計画中心線との関わり(イメージ)

設計協議

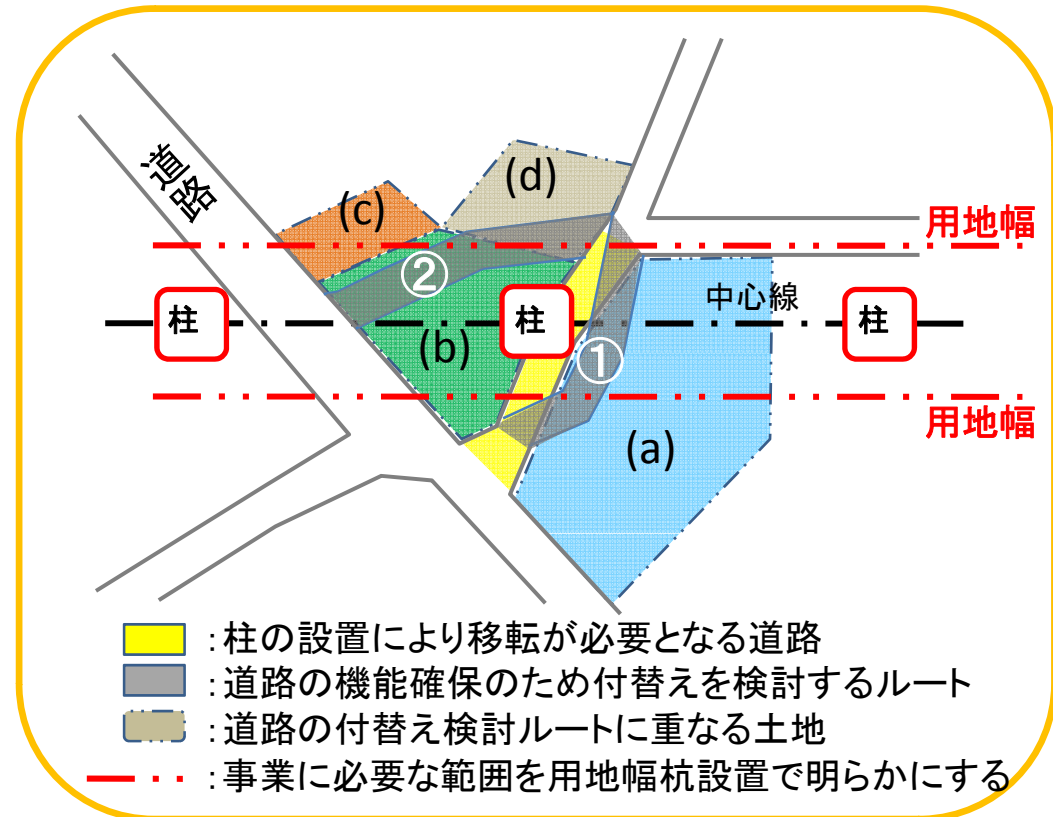


- 構造物の大まかな設計を行うとともに、必要な用地幅の検討を行います(用地幅杭設置)。
- 鉄道と交差する道路や水路の付替え・占用等について、国や地方自治体等の関係箇所と協議(設計協議)します。
- 設計協議終了後、構造物の詳細な設計を行います。



幅杭設置

建設用地の幅を示すため
計画路線に沿って両側に
杭を設置します。



道路の付替えと土地との関わり(イメージ)

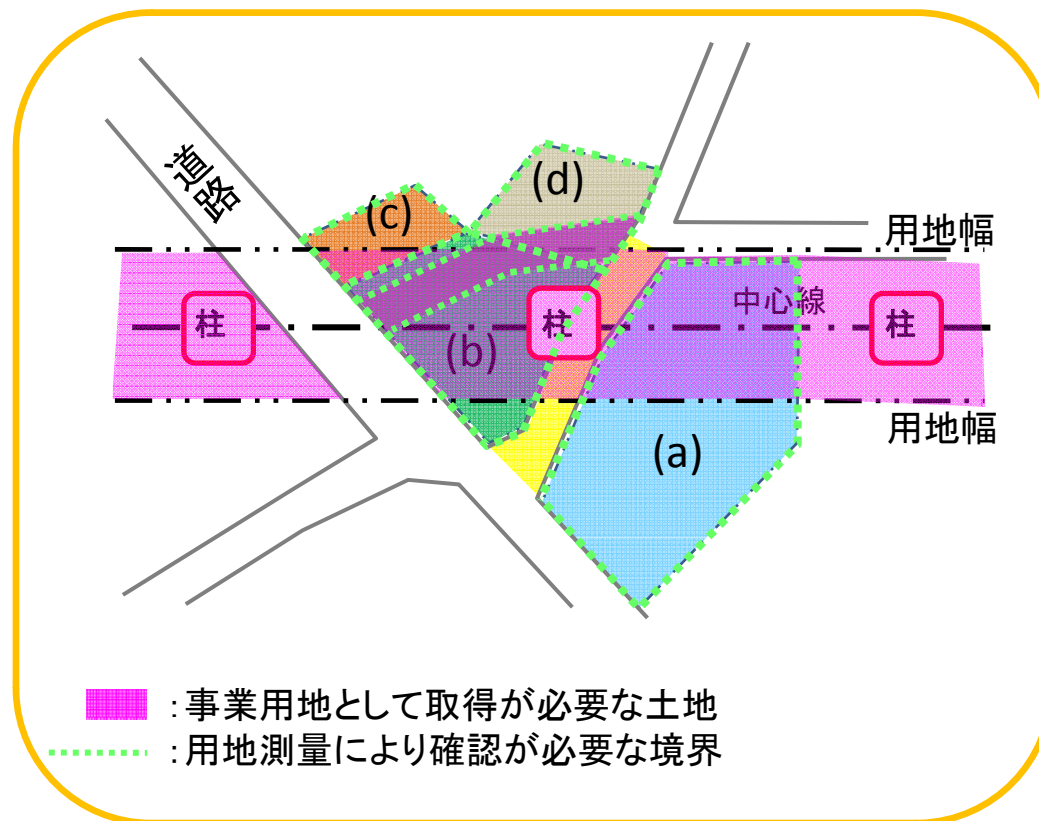
用地説明・用地測量



- 中央新幹線建設に必要なとなる用地の幅を示す杭を現地に設置したうえで、用地説明及び用地測量を行います。
- 境界立会い等、用地測量へのご協力をお願いします。



- 事業に必要な土地の範囲を明らかにするため、用地測量を行います。
- 測量の実施にあたっては、事前にお知らせした上で進めていきます。



計画用地幅と土地との関わり(イメージ)

今後の予定

事業説明

事業説明会が終了しましたら、事前にお知らせさせて頂いたうえで、中心線測量、用地幅杭設置等の作業を計画してまいります。

中心線測量

設計協議
(道水路)

用地幅杭
設置

用地説明

用地測量
(境界立会)

建物等
物件調査

用地説明
(個別)

土地売買
契約等

用地取得の際には、公共事業と同様に国の補償基準等に基づいて、適切に補償を行います。

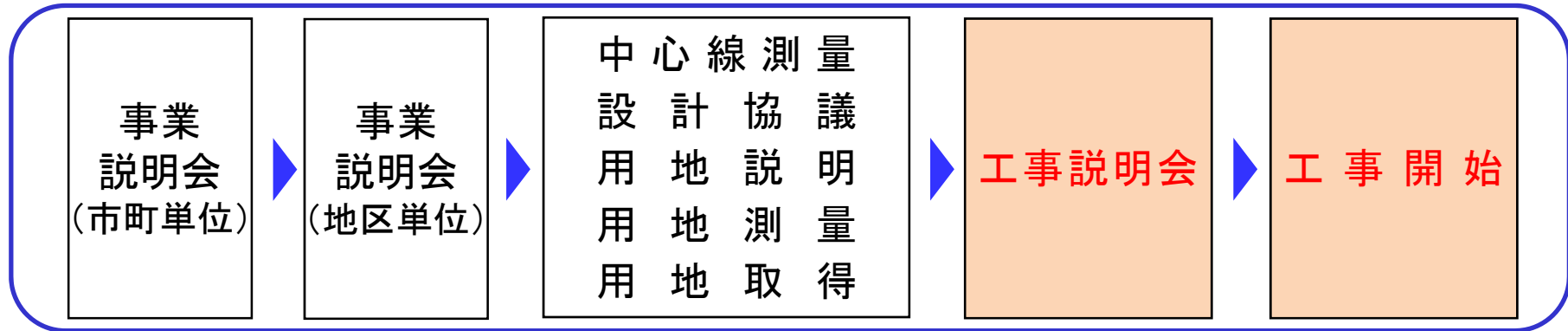
用地取得



過去の事例を踏まえ、早くても用地を取得させていただくまでに1年程度の期間を想定しております。

用地取得

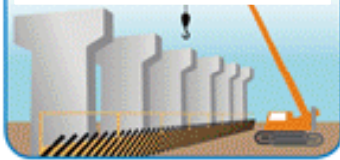
工事説明会・工事開始



工事説明会



工事開始



- 工事説明会では、
 - 工事の具体的な施工方法や施工手順
 - 工事中の安全対策、環境保全対策
 - 工事用車両の種類、通行ルート、台数 などについて説明します。

大月市では、新設区間の工事は発生しないため、これらの進め方にはよりませんが、工事用車両の通行に係る情報提供の方法については、今後行政とも相談しながら、検討してまいります。

お問い合わせ先

東海旅客鉄道(株)

環境保全事務所(山梨)、中央新幹線山梨工事事務所

住所 山梨県甲府市丸の内2-29-4

電話 055-231-1555(環境保全事務所)

055-208-1560(山梨工事事務所)

(受付日時／土・日・祝日・年末年始を除く平日 9時～17時)

